

○ 防火・防災講演会の開催

〔開催日時〕 平成30年12月20日（木） 13:30～15:10

〔開催場所〕 日本原子力研究開発機構原子力科学研究所 大講堂

〔講師〕 山村 武彦 氏（防災システム研究所 所長）

〔演題〕 「これからの防災・危機管理～個人の備えと組織の対応～」

防火・防災管理の意識の高揚と災害防止の徹底を図るため、12月20日、防災システム研究所所長 山村武彦氏を講師に、「これからの防災・危機管理～個人の備えと組織の対応～」と題して、原子力科学研究所大講堂において、防火・防災講演会が開催された。

講演会は278名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の6事業所からも10名が参加された。

講演会では、これからの防災・危機管理として大切なこととして、次のことが指摘された。(1)消火訓練と合わせて火を出さない訓練も行う。(2)停電になった場合に困ることを個人として又組織として考えて事前に対策を講じておく。(3)企業は、いつ、誰が、何をするかを部署ごとに定めたタイムライン（防災行動計画）を策定しておく。(4)予め広域ハザードマップを見ておく。(5)キーパーソンと連絡を取れるようにしておく。(6)家庭や職場に安全ゾーン（ガラス及び転倒落下物が少なく、閉じ込められない場所）を設けておく。(7)緊急地震速報を受信したり小さな揺れを感じたら、直ちに安全ゾーンへ移動する。

そして、最後に、人が人を助けることが防災成功の鍵の一つであり、企業は「地域と共に」の理念に基づいた行動を行うことが求められると締めくくられた。



講演会の様子